

新しい時代に 皆さまと共に 気持ち新たに

大竹市長 入山 欣郎



明けましておめでとうございます。
皆さまには、輝かしい希望に満ちた
新年を健やかに迎えのことと、お慶
び申し上げます。

昨年は、市の長年の宿題であった
大竹駅周辺整備事業が動き出した節
目の年となりました。また、大願寺地
区の問題も解決いたしました。

駅の建設や道路整備、雨水対策な
どの大きな事業は、完成までに長い
時間がかかります。これらの事業を
やり遂げるためには、どんな時代で
も、どんな大きな事業であろうとも
先延ばしにするのではなく、少しず
つでも前進することが大切です。

現在、国の経済状況は上向き傾向
にあると言われていますが、国民全
体が生活の豊かさを感じるまでには
至っていません。国を支える働く世
代の人口が減少する中では、今後も
厳しい財政状況は続くと思います。
その中でも、先を見据え、30年先、50
年先に、市民の皆さまが「よいまちに
なった」と言ってくくださるよう

れからも一歩一歩、確実に進んでま
いりたいと思います。

平成の時代から次なる時代がやつ
てきます。気持ちを新たに、市民の皆
さまのため、皆さまが幸せを、そして
生きがいを感じながら充実した人生
を過ごしていただけるよう、一所懸命
汗をかいてまいります。そして、皆さ
まと共にまちづくりを進めていけま
すことを心から願っています。

引き続き、お力添えをお願いいた
します。

本年が平穏で素晴らしい年であり
ますよう、また、皆さまのご健勝とご
多幸を心からお祈り申し上げ、新年
のごあいさついたします。

主義の健全な発展を目指し、皆さま
の声を市政に反映し議会の役割を担っ
てまいります。

本年もなお一層のご支援ご協力を
心よりお願い申し上げます。

この1年が皆さまにとって幸多い
年となりますことをお祈りいたしま
して新年のごあいさついたします。

平成31年

笑

笑顔いっぱいの年に

賀

大竹のまちじゅうが

2019年



明けましておめでとうございます。
皆さま方には、輝かしい希望に満
ちた平成31年の新春をお健やかに
迎えのことと心よりお慶び申し上
げます。

大竹市議会は昨年、2つの重点目
標を達成することができました。

1つ目は、議会のICT化として
タブレット端末の導入です。議会運
営事務の効率化、会議の円滑化を図
り、ペーパーレス化を進めることを
目指しました。試行期間ではござい
ますが、昨年4月から本会議、委員会
議会活動などでタブレット端末を活
用して効果を上げています。さらに



活用できるように、引き続き勉強会
などの開催を考えています。

2つ目は、大竹市議会基本条例の
制定です。平成27年9月から議会改
革調査会での検討を重ね、昨年12月
議会で議決しました。条例では議会お
よび議員の活動原則、基本理念など
を明確にします。そして、地方自治法
の本旨にのっとり、議会の責務を常
に自覚して、最良の意思決定を行う
ことで、市民福祉の向上と大竹市政
の発展を目指すことを定めています。
今後はこの条例に基づいて、議会制民

皆さまの声を市政に 議会の役割を担います

大竹市議会議長 児玉 朋也

